

## 2022 年度大阪女学院事業計画策定にあたって

### I. はじめに

大阪女学院の歴史と建学の精神、創立 140 周年に向けて大阪女学院全体像を展望している「VISION OJ140」、第Ⅲ期中期計画(2020~2024 年度)及び 2021 年度の計画推進の進捗状況を踏まえて、2022 年度事業計画を策定します。

事業計画の策定は、大阪女学院が 138 年の歴史を刻んでいて、大阪女学院と共に今を生きることを赦されている私たちがこの歴史の線上に立っているという事実を前提にしています。そして、この歴史は、この学院に関わった一人ひとりの生徒・学生、教職員の気づきと学びと人格涵養の体験、即ち、すべての大阪女学院の人が生きた事実を集積されたものです。また、先達は、その時々歩みを積み重ね、学院を守り、継承しつつ、新しい学院を創造してきました。私たちは、この 138 年間、神さまが傍らにいて、守り、導いてくださり、先達が歩まれた歴史に誇りと自信をもって、教育研究活動に取り組み、生徒・学生の人格を磨くこと、私たち自身とこの学院が磨かれ、継承することに励みます。

地球環境、世界、国家、コロナウイルスの感染、貧困、差別、分断、紛争、教育、経済、等、多様な課題の中を私たちが生かされていることを覚えて、大阪女学院並びに生徒・学生、教職員は、時々生じる課題に対応し、全人格を育む教育の業に取り組みます。さらに、キリスト教教育を土台として、女子教育、英語教育、平和教育、人権教育(解放教育)を継承・発展していくことを基本姿勢とし、コロナウイルスの感染を含めた環境変化に柔軟に対応し、健全な学院運営の構築を目指します。

特に、コロナウイルスのパンデミックは、世界全体も私たちの国も、格差をより顕在化させ、差別と分断を生み、弱い立場にある人びとがより弱くされていく状態に向かっています。この時こそ、私たちは、地球の隣人のことに心を寄せて、関心を失わず、大阪女学院が単に競争を勝ち抜く人材や能力を養成するのではなく、開校以来、平和と共生を目指し、かけがえのない生命・賜物を中心に考え、正直に仕事をする人格を育むことに力を注いできた教育機関であることを再確認します。また、2021 年 4 月に JR 玉造駅外回りホームに掲げている「大阪女学院広報プレート」を新しく作り直し、このプレートに「平和を創り出す人に」という大阪女学院の希望を表現していることを覚えて、歩みます。

2022 年度事業計画は、①長期的な視点では、国が想定する 2040 年の姿を確認し、「VISION OJ140」及び策定作業を開始する学院 150 周年(2034 年度)をイメージする運営像「VISION OJ150」を大阪女学院の未来への希望とすること ②短期的な視点では、財政と近い将来のリーダーシップの課題へ対応することに取り組みます。

### II. 大阪女学院が推進すること=VISION OJ 140 に向かう運営

#### 建学の精神(ミッションステートメント/2009 年 9 月 15 日制定)

大阪女学院は、創造主を恐れキリストの教えに従って一人ひとりを愛し、何が重要であるかを見抜く力を養い、喜びをもって進んで社会に仕える人を育む

#### VISION OJ 140

[大阪女学院が育もうとする学生・生徒像]

- \*キリスト教に基づく愛と奉仕を実践する人
- \*自由で主体的な学びの中から物事の本質を見つめ、進むべき道を選ぶことのできる人
- \*英語力を基礎に幅広い教養と公正な判断力を身に付け、自律的・主体的に行動できる人

\*性別の役割にとらわれずに多様な可能性を探し求め、リーダーシップを覚えて、女性の尊厳の確立に努める人

\*社会の課題に関心を持ち、世界、日本、地域、人に仕える人

[140周年(2024年度)を迎える大阪女学院の姿]

「中学校から大学院まで キリスト教を基盤に全人格を育む女子・女性の教育機関」

#### 1. 大学・短期大学の運営像

(1) 地球環境、平和、差別、貧困及び女性の尊厳に関わる潜在的な課題に関する教育の展開

(2) 英語運用能力の伸張と教養教育との融合を深化させる中で人格を育む教育の展開

(3) 2024年度の全体像

短期大学:1学年100名 大学:1学年150名 全学学生数:800名+大学院生

(4) コンセプト

キリスト教教育、人権教育、英語教育及び専門教育を柱に、確かな自己認識と社会認識によって問題意識を育み、世界の様々な場で人々と協働する女性を育てる高等教育機関

#### 2. 中学校・高等学校の運営像

(1) 世界を見つめ、生き生きと社会で活動する女性を育む

(2) 女性の視点での教育活動の展開

(3) 2024年度の全体像

中学校:1学年4クラス150名 高校:1学年7クラス240名 全校生徒数:1170名

(4) コンセプト

平和と共生の実現に寄与する生徒を育む学校

#### 3. 部門間の連携・協働の姿

(1) 中学校から大学院までの教育研究機関であり、キリスト教を基盤に全人格を育む女子の学校であることを地域社会に広く報せる。

(2) 大学院の研究成果(国際共生、平和)が、短大・大学にとどまらず、中学校・高等学校の中に活かされる教育を展開する。

(3) VISION OJ140、第Ⅲ期中期計画に則って、部門間の連携・協働がより充実している。

#### 4. 教育研究活動を支える学院運営の姿

(1) 女性が働くための課題と職場環境の充実

(2) 学院全体が協働する運営組織とシステムの構築

(3) 健全な財務体質への転換

(4) キャンパス施設設備の維持及び新設計画

(注)VISION OJ 140は2019年度に一部改訂したものです。

### Ⅲ. 2022年度事業計画及び運営に仕える私たちの基本姿勢の確認

神さまが創造された大阪女学院と生徒・学生・教職員に仕える私たち教職員の基本姿勢として、「神さまに委ねられている一人ひとりの生命と賜物と身体を大切に守り育てることを確認します。同時に、私たちは、私たちが生きている場や仕えている場、大阪女学院で、「今、その時、そこで」起きる問題に丁寧に対応することが望まれています。即ち、相対する人のことを愛し、仕えることを自覚し、そのための適切な行動ができるように、精神的、身体的、知的な備えを行います。